

2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム よもぎ

作成日 平成25年 8月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	今後も利用者1人ひとりに合わせた排泄の支援を全職員で統一して行い、羞恥心や不安への配慮を行った排泄支援を継続していくことが望まれる。	利用者個々に合わせた排泄支援の統一、羞恥心や不安への配慮を行った排泄支援の継続。	排泄チェック表等を活用し、利用者に合わせて支援を考え統一する。フロア会議等で羞恥心や不安の配慮を検討して行く。	12か月
2	36	個人情報やプライバシーの保護の研修をか重ねてお行うだけでなく、日々のケアの中で尊厳やプライバシーに触れるようなことがないか振り返る機会を持ち日常的な確認と改善に向けた事業所全体での取り組みが望まれる。	個人情報やプライバシーの保護を考えながら日々のケアに努める。	研修を行いながら、日々のケアの中で気が付いた事等を会議の場等で検討していく。	12か月
3	49	身体的な負担が少なく利用者の気分に合わせて屋外で過ごす機会をより多く持つために建物前おエントランス等を利用して利用者が外気浴を楽しめることができるようなスペース作りの工夫をされることが望ましい。	利用者が屋外で楽しめる様なスペースを作る。	敷地内の非常階段横に、ベンチ等を設置し、そこで外気浴等が出来る様なスペースを作る。	6か月
4	13	定期的な訓練だけでなく、年間を通じて利用者の身体状況等を踏まえて避難誘導方法を検討し、非常災害時に速やかに避難が出来るように職員間で周知する取り組みが望まれる。	年間を通じて、身体状況を踏まえた避難誘導方法の検討と職員間の周知。	アセスメントシートの変更と新しいボランティアの募集。	12か月
5	20	ボランティアの来訪などで利用開始後にできた馴染の関係も継続できるように支援することが望まれる。	ボランティアなどの新しい馴染の関係の継続。	ボランティアの催しへの参加と新しいボランティアの検討。	12か月
6	6	ベッド柵等、拘束をやむを得ず行う場合には、経過記録、拘束を最小限にする為の検討の記録などを残しておくことが望まれる。	拘束時の経過記録、検討の記録の整備。	拘束時の経過記録と検討の記録を整備する。	実施中

7	グループホームの全体的様子だけでなく、利用者個々の生活の様子も家族に把握してもらい、家族からより多くの意見や要望を出してもらいサービスの質の向上に役立てる取り組みが望まれる。	家族に利用者個々の生活を把握して貰い、意見や要望を聞く。	毎月1回の家族宛に書面を送付する。	1ヵ月
8	法人理念を基に地域密着型サービスとしての役割を盛り込んだ運営方針を立て、より理念の共有と実践に取り組むことが望まれる。	事業所としての理念を作成し、職員で共有、実践する。	職員全員で理念の作成し、会議等で実践できているか検討する。	3ヵ月
9	今後も地域密着型サービスとして、利用者が地域と関わりを持ちながら暮らし続けることができるように、事業所より積極的に地域への働きかけが望まれる。	利用者が地域と関わりながら暮らし続けることができる。	運営推進会議等で、働きかけていく。地域の行事に参加する。	12ヵ月
10	運営推進会議の内容は参加できなかった職員やメンバーにも理解してもらえるようにすることが望ましい。	運営推進会議の内容を職員が理解し、実践していく。	議事録を職員にも目を通してもらう。内容が分からない所は口頭で説明する。	12ヵ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。